

2020年9月11日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、「東京都住宅供給公社」が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施 ～ESG投融資を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島 直樹）は、ESG投融資の一環として、東京都住宅供給公社（以下、「同公社」という）が発行するソーシャルボンド（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

今般、当社が投資する本債券の調達資金は、同公社の展開する住宅事業に活用され、少子高齢社会や環境問題への対応、防災性の向上、地域コミュニティの活性化など、東京都が抱える社会的課題の解決や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献します。

<本債券の発行概要>

発行体：東京都住宅供給公社（R&I格付：AA）

名称：ソーシャルボンド

※ 国際資本市場協会（ICMA）が公表する「ソーシャルボンド原則」に準拠したソーシャルボンド

発行総額：260億円

償還期間：15年、20年、30年

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」（※）に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以 上

（※）責任投資原則（PRI=Principles for Responsible Investment）とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。